
平成29年度
事業計画書
【総括版】

社会福祉法人 東北福社会

1. 本部

目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 改正社会福祉法に基づき、「新・基本10か年計画」と経営戦略中期方針の見直し。 2. 改正社会福祉法に基づく法人運営と体制の強化。 3. 理念、事業内容、将来展望、待遇の明確化による人財確保の強化。 4. 法人内各拠点の安定経営に必要な全体調整。 5. 法人内各拠点の連携強化と諸課題の整理等による法人機能の強化。
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p>目標の達成に向け、平成27年度の検討チーム体制を一部見直し、より実現可能性の高い体制による下記項目の検討と実践を行う。</p> <p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営組織のガバナンス強化 内部管理体制の基本方針に基づき、①経営に関する管理体制づくり、②リスク管理に関する体制づくり、③コンプライアンスに関する管理体制づくり、④監査環境の整備づくりの強化。 2. 事業運営の透明性の向上と財務規律の強化 上記（1）と連動しながら、経営分析力の向上、収支改善、予算管理の実践。 3. 人財獲得・定着の強化／人財評価・育成の強化 ①人が集まる組織と人が辞めない組織づくりを目指す。②実習生や各種研修生等の積極的な採用による人財確保。③職場体験事業、見学ツアー等による地域において潜在している人財の掘り起し。④人財評価制度の理解浸透を図り、適切な運用につなげる。 <p>【地域公益活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 地域公益活動の強化 法人の各拠点で実践をしている、公益的な取り組み、地域の福祉ニーズに対応した取り組みの継続と充実。
主な修繕・改修工事等、備品等購入の予定	
<ul style="list-style-type: none"> ・給与等システム及び周辺機器類の5年経過による更新（平成30年1月予定） （参考）平成24年導入時：（総額）2,349,900円（60回払い/5年リース） 	
主な事業内容等	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 重点項目の検討および実践の体制 <ol style="list-style-type: none"> （1）経営会議の開催（原則として毎月1回開催） （2）施設長会議の開催（原則として毎月1回開催） （3）総務部課長会議の開催（原則として2か月に1回開催） （4）人財育成・定着検討チームの開催（随時） <p>※上記に加え、必要な体制を検討し、実践につなげていく。</p> 2. 重点事項における主な取り組み内容 <ol style="list-style-type: none"> （1）新任職員研修（4月）／新任職員フォローアップ研修（9月） （2）OJT研修①（6月）／OJT研修②（10月） （3）公開講座（11月） （4）介護職員初任者研修（年2回／夏・冬） （5）介護職員実務者研修の指定申請準備（平成30年度開講予定） 3. 法人にかかる各種会議等の予定 <ol style="list-style-type: none"> （1）理事会（年3回） （2）定時評議員会（年1回） （3）監事監査（年2回） （4）会計監査人による監査 	

2. せんだんの杜

目 標	<p>1) 利用者及び家族等に対するサービスの質向上を図ると共に多様化する社会の福祉ニーズに対応する先駆的な実践的研究及び開拓的なサービス展開を模索する。</p> <p>2) 職場環境改善に積極的に取り組むことによる働きやすい環境整備を実現すると共に職員への効果的・効率的な人材育成活動を継続し、福祉・介護人材の確保・定着を図る。また、福祉に関する啓発活動や人材発掘にも注力する。</p> <p>3) 社会の福祉課題の解決のため、利用者家族に加え多様な社会資源と有機的に連携し、支え合いのもと福祉コミュニティ及び地域福祉の醸成を図る。</p> <p>4) 社会的要請に応えるべく、社会福祉法人としての事業運営を吟味すると共に経営的課題の解決をさらに計画的・具体的に進める。</p>			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <p>①PDCAサイクルを基軸とした、利用者個々人に応じた適正なケアマネジメントの展開。</p> <p>②ストレスチェック後の対応として職場環境改善を適切に進め、職場環境の問題の明確化と課題解決にすべての職員の職員が一体となって取り組む。</p> <p>③各サービス事業所が限られた資源で最大限の効果をもたらすことができるような事業経営・事業運営の改革に注力する。</p> <p>【地域公益活動】</p> <p>①次世代に向けた効果的な福祉教育及び福祉・介護人材の発掘をするための「職場体験事業」並びにニーズにマッチした求人活動等を通し、「参入促進」「人材確保」などの人的資源に関する課題解決を具体的に進める。</p> <p>②社会的ニーズや非市場化的なニーズを見極め、地域住民や様々な社会資源と共にその課題を共有し、社会福祉法人に求められる社会的要請に応えるべく、地域公益事業並びに地域における公益的な取り組みの能動的・開拓的な事業展開を行う。</p>			
主な修繕・改修工事等、備品等購入の予定				
別紙「平成29年度当初予算案におけるせんだんの杜設備整備工事等」参照				
事業別稼働目標と前年度実績の比較（前年度実績は、平成29年1月末時点での利用率）				
No	事業所名	定員 (人)	29年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームリベラ荘（従来型）	32	98.5	99.8
2	同上（ユニット型）	18	97.0	95.2
3	ケアハウスフェリコ館	30	97.5	100.0
4	せんだんの杜短期入所生活介護事業所	20	96.0	88.7
5	せんだんの杜訪問介護事業所（障がい）	—	3,600（時間）	3,318（時間）
6	せんだんの杜国見ヶ丘通所介護事業所	10	休止	休止
7	せんだんの杜中山通所介護事業所（一般型）	10	62.2	47.7
8	せんだんの杜国見通所介護事業所	10	52.3	33.6
9	せんだんの杜居宅介護支援事業所	—	900（件）	902（件）
10	国見ヶ丘地域包括支援センター	—	3,168（件）	2,634（件）
11	杜の子ハウス（放課後等デイサービス）	10	80.0	95.8
12	遊杜家（放課後等デイサービス）	10	80.0	89.5
13	国見ヶ丘の家（放課後等デイサービス）	10	60.0	—
14	国見ヶ丘せんだんの杜保育園	99	106.0	106.0
15	国見ヶ丘せんだんの杜保育園分園	28	107.0	107.0
16	せんだんの杜地域子育て支援センター	—	4,000（件）	4,099（件）
17	せんだんの家（児童自立援助ホーム）	9	88.0	77.7
備 考	せんだんの家暫定定員7名で予算書作成（今年度暫定定員8名）			

平成29年度当初予算における「せんだんの杜」設備整備工事等について

(案件) 平成29年3月8日理事会・評議員会

1.(老朽整備)特別養護老人ホームリベラ荘等本体施設における「高圧受配電設備機器の一部交換更新工事」その2-1	
必要性	老朽化及び耐用年数超過設備から順次交換(全三年度計画のうち第2年目)
整備内容	①変圧器一式 ②限流ヒューズ一式 ③高圧進相コンデンサ ④高圧電線一式 ⑤その他工事費一式
発注予定先	日本テクノ(株) (せんだんの杜高圧電気設備保安管理業務委託業者)
予定価額	金5,940,000円(税込)
支払方法	1回払
支払資金	経常資金、修繕積立資産を充当

2.(老朽整備)特別養護老人ホームリベラ荘等本体施設における「高圧受配電設備機器の一部交換更新工事」その2-2	
必要性	老朽化及び耐用年数超過設備から順次交換(全三年度計画に対する追加計画)
整備内容	①配電盤交換のための工場製作(7台) ⑤その他工事費一式
発注予定先	日本テクノ(株) (せんだんの杜高圧電気設備保安管理業務委託業者)
予定価額	金5,994,000円(税込)
支払方法	1回払
支払資金	経常資金、修繕積立資産を充当

3. せんだんの杜ものう

目 標	1) 利用者・入居者のサービス利用満足度およびサービスの質向上に向けた取り組みの強化 2) 介護人財の確保・育成・定着へ向けた関係機関との関係づくりと事業所内教育体制の強化 3) 地域での暮らしを続けるための支援と地域連携の強化 4) 稼働率向上と経営安定化のための仕組みの再構築と実践力向上に向けた取り組みの強化			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> ①全ての職員が法人理念を念頭に、利用者・入居者の皆様のニーズに沿って、良質なサービスの提供、安心できる暮らしの場の提供ができるように、日頃からOJT・Off-JTの機会を活用し、人財育成とケアの実践の両面を意識した取り組みを行っていく。 ②地域包括ケアや介護予防・日常生活支援総合事業に関する情報収集と事業所内での勉強会等を定期的開催することで、事業所内の職員の地域福祉に関する学びを深めていく。 ③毎月の稼働率、収支状況を知る機会を設け、「低調・高調」それぞれの要因分析・評価・検討を組織全体で行い、安定した経営状況の継続に向けた「工夫と実践」に取り組む。 <p>【地域公益活動】</p> ①地域包括支援センターおよび居宅介護支援事業所を中心として、地域住民との「対話」の機会を増やし、地域ニーズを「知る」機会を設けていく。その中で得た情報を基に地域に向けた取り組み（認知症カフェ・座談会・認知症サポーター養成講座・小中学校等での福祉に関する教育機会の確保など）の実践や、現在提供している自主事業サービスの見直しと新たなサービスの創設を検討していく。 ②東日本大震災から6年が経過する中で、継続した被災者支援を行っていく。その中で、変わりゆくニーズに対して適切かつ迅速に対応すべく、関係機関・団体・行政等との連携強化とネットワークの有効活用を行い支援していく。 ③ものう、うした、なかつやまの各事業所で開催している運営推進委員会を今年度も定期開催し、「地域の課題」に対して地域と事業所が連携して取り組み、「住み慣れた地域での暮らし」の実現に向けた機会を設けていく。			
主な修繕・改修等工事等、備品等購入の予定				
事業別稼働目標と前年度実績の比較（前年度実績は、平成29年1月末時点での利用率）				
No	事業所名	定員 (人)	29年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームファミリオ	50	98.5	97.4
2	地域福祉センター通所介護事業所	18	70.0	65.9
3	ものう通所介護事業所	10	75.0	70.2
4	ものう短期入所生活介護事業所	15	103.0	101.5
5	ものう短期入所生活介護事業所（障がい）			
6	ものう訪問介護事業所	—	620（時間）	583（時間）
7	ものう訪問介護事業所（障がい）			
8	ケアハウスフェリカ	15	99.0	98.7
9	なかつやま第一通所介護事業所	10	70.0	64.1
10	なかつやま認知症対応型共同生活介護事業所	9	98.5	96.3
11	うした通所介護事業所	10	83.0	81.1
12	うした認知症対応型共同生活介護事業所	9	98.5	97.3
13	ものう居宅介護支援事業所	—	130（件）	125.6（件）
14	石巻市ものう地域包括支援センター	—	120（件）	116.9（件）
15	石巻市桃生地区第一放課後児童クラブ	40	32（人）	24.4（人）
16	石巻市桃生地区第二放課後児童クラブ	50	40（人）	33.1（人）
備 考				

5. せんだんの館

目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者のニーズに応じたサービス調整および関係機関との連携による新規利用者の獲得、入居申込者等への継続的なアプローチにより稼働率の維持・向上を図る。 2. 長期的な安定経営を常に念頭に置き、その具現化のため、月間・年間の収支把握と分析を行いながら増収を図る。 3. 「利用者主体」の基本方針に基づく人財育成とサービスの質向上を図ると共に、職員が働きがいをもてる「魅力ある職場づくり」を目指す。 4. 近隣住民および関係機関との連携により、新たな地域サービスの開発・提供を行う。 			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所をはじめとする近隣の関係機関との連携を強化し、新規利用ニーズを積極的に把握し、新規利用者獲得につなげていく。 2. 新規入居者調整に伴う空床期間の短縮、入院者等の状況把握、空床を活用したショートステイの実施などにより、稼働率の維持・向上を目指す。 3. 介護予防・日常生活支援総合事業移行に伴うサービス提供体制を整備し、新たなニーズの把握と対応を実施するとともに、地域包括支援センター等関係機関との連携を強化する。 4. 毎月の収支把握と分析を各部署と協同で行う。 5. 目標管理制度を基盤とし、日常的な職場内教育の実施と計画的な研修会・学習会の開催を行い、職員の価値観・倫理観・知識・技術の向上を目指した人財育成・人財定着に取り組む。 <p>【地域公益活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近隣住民および関係機関との協働による「認知症カフェ」の開催を通じ、認知症の方と家族への居場所づくりを行うとともに、認知症に関する普及・啓発、マンパワーの育成に取り組む。 2. 「地域連携を考えるワーキング」の活動により、住民参加型の企画運営、広報誌の発行、各専門職の講師派遣を行う。 3. 防災協定などを基とした近隣町内会との関係性を深め、住民主体の福祉活動への側面的支援を行う。 4. 多様な実習やボランティア受入れ、職場体験事業の実施、地域への講師派遣などにより、福祉教育の醸成に寄与し、人財確保の充実につなげる。 5. ホームページの活用を積極的に行うことで、地域へ向けた事業内容の紹介や情報提供を行い、透明性のある事業運営につなげる。 			
主な修繕・改修等工事等、備品等購入の予定				
<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、プリンター及び周辺機器類の更新 総額 6,965,460 円（税込）※月額リース料（税込）：119,880 円（60 回払い/5 年リース） ・廃車による車両購入 総額 2,320,516 円（税込）※月額リース（税込）：26,200（60 回払い/5 年リース）残価設定あり 				
事業別稼働目標と前年度実績の比較（前年度実績は、平成 29 年 1 月末時点での利用率）				
No	事業所名	定員 (人)	29 年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームせんだんの館	100	98.3	98.1
2	せんだんの館ショートステイ	20	94.0	90.3
3	せんだんの館デイサービス	40	82.8	82.8
備 考				

6. 認知症介護研究・研修仙台センター

目 標	東北福祉大学を母体とする関連研究施設及び関連福祉施設等との有機的連携を深めながら、 1. 研究事業、2. 研修事業、3. 運営事業費補助金による事業、4. その他事業を実施する。			
重点項目と主な内容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <p>1. 研究事業 研究事業補助金等による研究事業 (1) 研究調査 老人保健健康増進等事業／運営事業費における研究事業 (2) 研究の取り組み 研究事業の倫理的観点からの検討（倫理審査委員会）／研究資料の収集・整理／研究成果の報告／三センター研究成果発表会での報告 (3) 研究成果の広報 DCnet 等による認知症啓発活動</p> <p>2. 研修事業 都道府県等の研修委託費等による研修事業 (1) 認知症介護指導者養成研修の実施 第1回：6月5日～8月4日 / 第2回：8月28日～10月27日 (2) フォローアップ研修の実施 第1回：11月20日～11月24日 / 第2回：12月18日～12月22日</p> <p>3. 運営事業 運営事業補助金による事業 (1) センター運営委員会・外部評価委員会の開催 (2) 認知症介護研究・研修センター全国運営協議会の開催 (3) 三センター合同会議への出席 (4) 認知症介護セミナーの開催</p> <p>4. その他事業 (1) 認知症介護基礎研修 e ラーニング運用事業 (2) 「認知症介護の基礎」研修事業</p> <p>【地域公益活動】</p> <p>1. 認知症カフェの企画・運営（毎月第1土曜日） 2. 宮城県・仙台市・関係団体との連携による認知症啓発活動</p>			
主な修繕・改修等工事、備品等購入の予定				
予定なし。				
研修別目標と前年度実績の比較				
No	研 修 名	定員 (人)	29年度目標 (人)	前年度実績 (人)
1	第1回認知症介護指導者養成研修	20	20	18
	第2回認知症介護指導者養成研修	20	20	19
2	第1回フォローアップ研修	20	16	10
	第2回フォローアップ研修	20	17	19